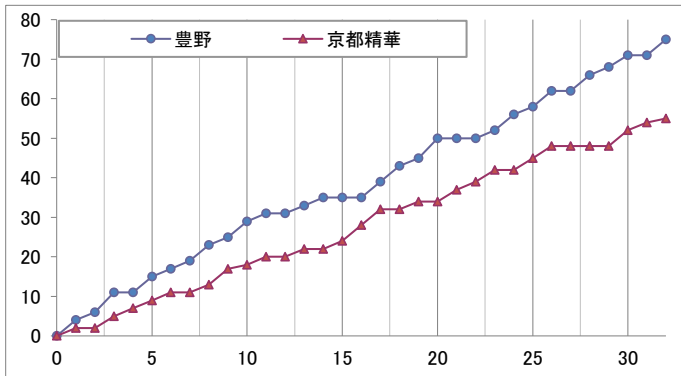




大会名	平成28年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校バスケットボール大会																		
会場	勝山市体育館ジオアリーナ																		
日時	2016年8月25日(木) 13:00																		
コート	KMコート																		
カテゴリー	女 決勝																		
主審	田邊 真由美																		
副審	浦 健一、星野 由貴																		
TEAM A	TEAM B																		
豊野 (埼玉)	75 ○	<table border="0"> <tr><td>23</td><td>1st</td><td>13</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>21</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>19</td><td>4th</td><td>13</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	23	1st	13	12	2nd	15	21	3rd	14	19	4th	13	—			55 ●	京都精華 (京都)
23	1st	13																	
12	2nd	15																	
21	3rd	14																	
19	4th	13																	
—																			

得点経過



BOXスコア

TEAM A		豊野					
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F
4	川地 奈菜子	DNF	0	0	0	0	0
5	坂齋 綾南	×	8	0	4	0	3
6	油原 千紜	DNF	0	0	0	0	0
7	大久保 春花	/	2	0	1	0	0
8	島田 愛里	DNF	0	0	0	0	0
9	大久保 凧紗	DNF	0	0	0	0	0
10	山下 芽	×	13	1	5	0	2
11	近藤 菜々実	DNF	0	0	0	0	0
12	蟹谷 悠夏	DNF	0	0	0	0	0
13	松崎 綾乃	DNF	0	0	0	0	0
14	浦野 百恵	DNF	0	0	0	0	0
15	各務 早紀	×	8	1	2	1	2
16	新井 和佳奈	DNF	0	0	0	0	0
17	倉持 のりか	×	30	0	13	4	2
18	中澤 梨南(CAP)	×	14	0	7	0	3
コーチ	田中 英夫						
合計			75	2	32	5	12

TEAM B		京都精華					
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F
4	高橋 未来(CAP)	×	19	1	6	4	2
5	松尾 祥花	×	6	2	0	0	2
6	下間 ほのか	×	11	1	4	0	1
7	田中 優歩	DNF	0	0	0	0	0
8	柁宜 くるみ	/	8	0	3	2	1
9	里内 明日香	DNF	0	0	0	0	0
10	松田 洸華	DNF	0	0	0	0	0
11	平澤 美奈	DNF	0	0	0	0	0
12	瀬川 心暖	/	2	0	1	0	0
13	藤 朱音	DNF	0	0	0	0	0
14	野山 裕唯	DNF	0	0	0	0	0
15	中江 美友	DNF	0	0	0	0	0
16	西村 有未	DNF	0	0	0	0	0
17	柴田 柚菜	×	5	0	1	3	1
18	荻田 美	×	4	0	2	0	3
コーチ	山本 綱義						
合計			55	4	17	9	10

×…スターター /…出場 DNF…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

女子決勝は、両チームとも初優勝を目指す豊野(埼玉)と京都精華(京都)の対戦となった。開始早々、豊野のドライブによるシュートでゲームが始まる。京都精華は#4のドライブからのシュート、豊野はやはり高さを活かしたインサイドでの攻撃を仕掛ける。京都精華は豊野の高さをなかなか止めることができず苦しむが、#4のドライブからのジャンプシュートや#17のリバウンドでなんとか食らいつき、豊野23-13京都精華で1Q終了。2Qは豊野#10からのロングパスで#17がゴール下で頑張り続け得点していく。京都精華は、ガード陣の鋭いドライブからのジャンプシュートで少しずつ豊野を追っていく。さらに#4のドライブをきっかけに流れを引き寄せ豊野35-28京都精華で点差を縮めて前半終了。

後半開始早々、豊野は#17、#18がゴール下で確実に点を取っていく。少しでも差を詰めたい京都精華だが6分間得点が入らない我慢の時間が続く。京都精華は#4の3Pで流れを掴みたいが豊野もリズムを崩したくない。ここでも豊野は#17にボールを集めていく。お互いボールマンプレッシャーをかけていき激しいぶつかり合いをしていくが豊野#17の勢いが止まらず豊野56-42京都精華で3Q終了。4Qは京都精華#5、#6の連続3P、#4のリバウンドで得点していく。しかし、豊野は#5のドライブ、#17のゴール下シュートで確実に得点を挙げ、最後は豊野が20点差をつけて初優勝となった。両チームとも最後までひたむきにボールを追いかけ、決勝に相応しい素晴らしい一戦であった。